

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	プラン、実行、チェック、アクションの一連の流れが遅い場合があり、現状に即した介護計画の立案が遅れがちになっている。	ご利用者の現状に即した介護計画を立てそれに即したケアの実現を早いサイクルで回す。	立案した介護計画に対して、日々の業務を通じてモニタリングを実施し、計画に修正が必要となればすぐに対応できるようにする。	12ヶ月
2	13	職場内の研修などは頻繁に実施しているが認知症ケア等の知識を維持していく必要がある。	認知症ケア、感染症予防、虐待・身体拘束防止といったグループホーム職員として必要な知識の維持、向上を図り、高い水準のケアを提供する。	昨年度から引き続き、全職員に係(認知症ケア、感染症予防虐待・身体拘束防止)を受け持たせ月に1回の勉強会の際に、自習した内容の発表を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。